

社会教育指導員と佐久山地区公民館に勤務して感じること

菊地 孝行

私は、四十二年間の消防人生が終わり四月から社会教育指導員として佐久山地区公民館に勤務することとなり早くも三ヶ月が過ぎようとしております。

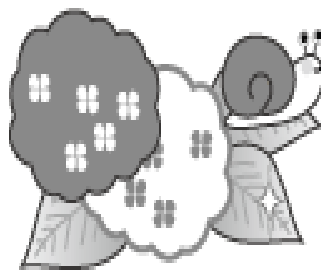
私の主な仕事は、高齢者学級、女性セミナー、佐久山小学校と福原小学校の家庭教育学級を受け持つっており、学級生は、高齢者学級が三十七名、女性セミナーが二十八名、佐久山小学校家庭教育学級は一・二年生児童と保護者四十八名、福原小学校家庭教育学級は全校生児童・保護者五十九名となっております。

今年度は、女性セミナーの受講生が九名ほど増えましたが他の公民館から比べると高齢者学級、女性セミナーとも少なく感じます。

高齢者学級、女性セミナー共に、年十数回の講座を

開催し、高齢者・女性が合同で実施しているため二十回以上の講座となっております。主な講座は、健康講話、教養講話、実技研修、視察研修などとなっております。

今年度は、参加率五十パーセント以上を目標に参加くださることを期待しています。



次に公民館事業ですが、佐久山地区においては、現在まで四種目のスポーツに関する事業があります。

その中で、現在まで続いている自治公民館対抗ソフトボール大会、女性バレーボール大会(婦人バレーボール大会・途中から名称変更)があり、平成十年頃までは一部自治公民館を除く各自治公民館が参加し盛大に開催して

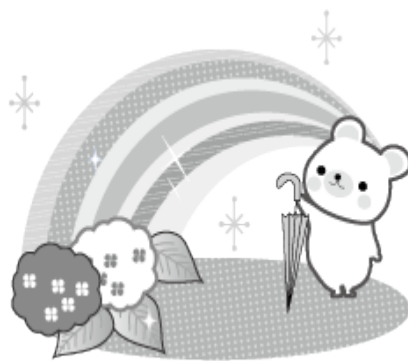
おりましたが、平成二十年度を境に、参加する自治公民館が年々減少し今年度は女性バレーボール大会が参加チーム一チームのため大会が中止となりました。佐久山地区の少子高齢化が進む中、公民館事業の中のスポーツ関係については、佐久山地区のスポーツ推進委員、各自治公民館長と今後の事業の在り方を検討しなくてはならないと考えています。

私も、平成三年度から体育指導委員(現スポーツ推進委員)として二十年間携わってきました。スポーツの種目を見直しながら地域(自治公民館)の人達が若い人から高齢者まで参加できる種目、人数が少なくても出来る種目として、ニュースポーツなどを公民館事業として取り上げてきました。参加人数は減少しております。

これからも、公民館事業が継続でき、かつ地域の皆さんの交流の場であるとともに、

活力ある事業となるよう皆さんのご協力をいただきましたと思います

私も、皆さんと一緒に地域に貢献したいと考えておりますのでよろしくお願いたします。



寄付者ご芳名

金一封

亡父 平山

青木 茂男 様